

## 学校経営方針

小中共通 目指す子供像……夢を語れる子  
小中共通 学校教育目標……自ら学び ともにみがき合う  
重点目標……やってみよう！  
小中共通 学校経営目標……子どもも教職員も笑顔で 生き生きと学び合い、  
保護者や地域とつながる学校づくり

### 学校経営目標が具現化した時の姿（目指す姿）

#### I 学校像

- ① 子供（教職員）にとって「学校が楽しい」「明日もまた来たい」と思える学校
- ② 子供（職員）が生き生きと活動し、やりがいをもって学ぶ（働く）学校
- ③ 保護者や地域から信頼され、期待される学校
- ④ 小中一貫の特有性が、最大限に生かされた学校

#### II 子供像

- ① 主体的、協働的に学ぶ、互いを認め合い、自分らしさを発揮できる子
- ② 夢や目標を持ち、前向きに最後までやり抜こうと頑張る子
- ③ 自分も友達も大切にできる子
- ④ 感謝の気持ちや思いやりの心、感動する心を持てる子
- ⑤ 松野地区が大好きで地域の人に進んでふれあい、地域に愛着を持てる子

#### III 教員像

- ① 「教育の専門家」「学びの専門家」として自覚と人間力の向上
- ② お互いの実践を学び合う同僚性の高い職員集団
- ③ 「令和の日本型学校教育」を創造するチャレンジ精神の醸成と職員研修の充実

### 教職員の行動指針

#### （1）人権意識の向上「ていねいに聴き、ていねいに話す」

『話を聴く』ことが、その人の存在を認めることであり、人権意識をつくっていく基盤となることを意識し、全ての教育活動の中で実践していく。

#### （2）学力向上・授業力の向上「ていねいに聴き、ていねいに支える」

子供との何気ない会話でもていねいに聞き、問いかけについてもていねいに聴き、時には訊き返し、一人一人の子供に応じた適切な支援を行える授業力を身に付け、実践する。

#### （3）安心・安全の向上「ていねいに共有し、ていねいに素早く対応する」

子供のおかれている環境の安全に常に気を配り、気になる点は、全教職員で共有し、早急に改善・対応を図る。

## 学校経営目標を具現化するための4つの柱

- 1 9年間を見通し、学びの系統性・連続性を重視した授業をつくる。**学び続ける力** SDGs
- 2 人権教育を推進し、多様性を認め合える豊かな人間関係を構築する。**関わり合う力** 人権教育
- 3 命の大切さを常に意識し、健やかでたくましい心と体を育む。**心と体を守る力**
- 4 横の連携を深め、地域の教育力を生かした教育活動を推進する。**地域を愛する心**

### 1 9年間を見通し、学びの系統性・連続性を重視した授業をつくる。 **学び続ける力** SDGs

#### (1) ともに学び合う授業をつくる

##### ア 付きたい力の明確化・切実感のある課題の設定

- ・自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的に取り組む児童・生徒を育成するため、児童・生徒理解を大切にしながら教材研究を深め、児童・生徒が「解決したい」「追究したい」と思える課題や問いを設定する。

##### イ 聴き合い学び合える授業づくり

- ・仲間との関わり合いの中で育ち合う問題解決型、課題解決型の授業づくりを進める。
- ・児童・生徒の誰一人として学びを諦めさせない、置き去りにしないという“マインド”を持ち、児童・生徒の資質・能力を育み、高めることを心掛ける。

##### ウ ICT 機器を活用した新しい授業づくり

- ・『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な学びの充実を図り、自ら学び、主体的に判断し、行動して、よりよく問題解決する資質や能力を育む。

#### (2) SDGs 学習を推進し、社会とのつながりを意識した学びを創造する

##### ア 子どもの感性に働きかける体験学習の推進（学校行事、『松野学』など）

- ・子供たちが主体的に「人・もの・こと」に働きかけ、関わっていく活動を通して、感動や驚き、疑問などを抱き、成長の糧となる体験学習を積むようにする。

##### イ 課題を発見し、解決する能力の育成（『松野学』総合的な学習の時間など）

- ・持続可能な社会の創り手となることができる子どもを育てるため、探究的な学びを実践。

#### (3) 計画的に家庭学習を行う

##### ア 「家庭学習のすすめ」の活用（課題の内容・方法の工夫）

- ・目的意識を持った主体的な家庭学習の実践と定着を図る。

##### イ 夢手帳の活用（松野塾など）

- ・意図的に「夢手帳」を活用することで、子供たち自身が自分で考え、判断し、行動する学びをマネジメントし、目標達成に向かって学習に取り組めるよう働き掛ける。

#### (4) 読書に親しむ

##### ア メディアセンターとしての学校図書館の活用

- ・子供たちの自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成する。

##### イ 家庭での、「質の高い読書」につながるよう指導の工夫と改善を図る。

- ・ノーメディアウィーク（ノーメディアデイ）を実施し、PTA との連携を図りながら、質の高い読書になるよう取り組む。

## 2 人権教育を推進し、多様性を認め合える豊かな人間関係を構築する。関わり合う力 人権教育

### (1) 自分も他者も大事にする（居場所づくり）

#### ア 自他を大切に互いに認め支え合う子の育成

- ・個々の児童・生徒が、一人の人間として大切にされているという実感を持ち、明日も学校に来たいと思える居場所のある学校・学年・学級づくりを実現する。
- ・他の人の立場に立ってその人に必要なことや、その人の考えや気持ちなどがわかる想像力、共感力を育成する。（異学年交流等の推進）

#### イ あいさつや優しい言葉遣いの励行

- ・温かい人間関係に支えられた、学校・家庭・地域づくりのため、気持ちの良いあいさつや相手を意識した優しい言葉遣いを励行し、円滑な人間関係の構築に努め、あいさつでつながる松野地区となる。

#### ウ 人・もの・ことと関わり合う活動の充実（松野学の推進）

- ・地域や関係機関の教育力を生かし、人間関係を調整する能力並びに自他の要求を共に満たせる解決方法を見出すことのできる能力やそのための技能を高める。

### (2) 夢や目標を持ち、努力する

#### ア 夢手帳の活用（週目標設定）

- ・目標を持ち、具体的な課題を解決し、生涯にわたって夢を語れる人になるための思考方法を醸成する。

#### イ 夢や志の実現に向けたキャリア教育の充実

- ・松野学での学びを通して、社会とのつながりに気付き、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくための資質・能力の発達を促す。

### (3) 小中一貫校の特有性を最大限に生かした教育活動を推進する（絆づくり）

#### ア 4・3・2制を生かした教育活動の充実

- ・初等部、中等部、高等部の発達段階を踏まえ、それぞれの発達段階の特性を生かした行事を企画・運営し、ステージ毎のリーダーとなる4年生、7年生、9年生のリーダーを育成する。（松翔祭、ステージ集会）
- ・縦割り活動など、絆づくりを意識した児童・生徒が主役の学校行事を意図的に計画することで、学校全体の所属感・連帯感を高め、自己肯定感や自己有用観を育てる。

#### イ 異年齢交流の充実（含：松野こども園との交流）

- ・異年齢交流活動により、下級生が「憧れ」「期待」「目標」を持つことができ、上級生は「責任」「使命感」「思いやり」などが育つ関係になるように仕掛ける。

### (4) 豊かな人間性を育む(道徳)

#### ア 自分事として考える場の設定

- ・自分事として「考え、議論する」特別の教科道徳の実践を重ねることにより、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育て、誠実に実行できる資質・能力を高める。

#### イ 人権教育の推進

- ・富士市こどもの権利条例を鑑み、児童生徒の人権感覚や仲間意識を培い、お互いの人権が尊重される社会を築こうとする態度を育成する。

### 3 命の大切さを常に意識し、健やかでたくましい心と体を育む 心と体を守る力

#### (1) 食と健康を考える

- ア 養護教諭、栄養教諭等と連携した健康教育と食育指導の充実
  - ・栄養教諭等との連携した授業を行うことにより、児童生徒が食生活に対する正しい知識を身に付け、食に関する自己管理能力を育成する。
- イ 早寝早起き朝ごはんの励行
  - ・よりよい生活習慣を獲得するために、家庭との連携を密にするとともに、夢手帳を活用して、自律的な生活を送れるよう支援していく。

#### (2) 心身を鍛える

- ア 目標を持って粘り強く挑戦できる子の育成
- イ みんなで遊ぶ・たてわり遊びの実施
- ウ 部活動や外部クラブ等、自分の趣味・特技を伸ばす活動の充実

#### (3) 自他の健康安全を考える

- ア 園小中合同避難訓練、防犯・防災訓練の実施
  - ・防災に対する関心を高め、自分を守るとともに松野地区を守るという意識を持たせる。
- イ 情報モラル教育の推進・家庭への啓発
  - ・SNS によるトラブル、誹謗中傷、ネットトラブルなどを未然に防ぐため、初等部からの情報モラル教育を充実させ、子供と大人が共に考える実践や啓発活動などを年間通して繰り返し実践する。

#### (4) 生活・時間をコントロールする

- ア 家庭と連携した基本的な生活習慣の充実
  - ・スマホやテレビゲームに費やす時間をコントロールできるなど、自律した生活を送ることができる自己管理能力を育成する。（ノーメディアウィーク等の推奨）
- イ 日常的な夢手帳の活用（よりよい生活の習慣化）

### 4 横の連携を深め、地域の教育力を生かした教育活動を推進する 地域を愛する心

#### (1) 地域の人々・保護者が子供を慈しむ活動

- 松野学（生活科・総合的な学習）、読み聞かせ、図書館ボランティア活動、クラブ活動、学習・学校環境支援、見守り隊等

#### (2) 子どもが松野に貢献し愛する活動

- 松野学（生活科・総合的な学習）、地区運動会、地区文化祭、防災訓練等

#### (3) 地域・保護者と共に学ぶ活動

- あいさつ運動、学校・学年行事、授業参観、懇談会、家庭学習、生活習慣作り等